

美濃和紙あかりアート展



岐阜県美濃市
美濃和紙あかりアート展実行委員会



手づくり郷土賞
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

1 社会資本の概要

「美濃和紙あかりアート展」の会場となる「うだつの上がる町並み」は、かつては六街道が放射線状に延びる交通の要であり、長良川による舟運により物資の集積の地となり、紙商など商家の町として発展しました。東西 280 間の 2 筋の通りと南北 70 間の 4 筋の横町からなる「目の字通り」には、防火壁の機能とともに権威の象徴として商人が競って豪華に飾った「うだつ」が今なお残り、落ち着いた佇まいと様々な商家の営みが息づいています。特に、平成 11 年国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けた後、国土交通省のまちづくり総合支援事業により電線類地中化及び道路修景が行われ、より風情ある町並の景観へ移りかわりました。更に、まちづくり交付金により観光多目的広場や駐車場が整備

されたことで慢性的な駐車場不足を補い、観光客の誘客に弾みがついていきました。



うだつの上がる町並 (電線の地中化、道路修景整備)

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

平成初期の「うだつの上がる町並み」一帯は時代に残された閑散とした町並みとなっており、衰退が危惧されていました。そこで、「周回遅れのトップランナー」となるべく、美濃ならではの、洗練されたイメージを創出し、活気ある町並みにするための新しいコト「美濃和紙あかりアート展」を美濃市政 40 周年のタイミングで始めました。

「美濃和紙あかりアート展」は 1300 年の伝統が

ある美濃和紙を使ったあかりのオブジェを全国公募し、応募があったすべての作品をうだつの上がる町並みに展示することで、町並み一帯が明かりに照らされ幻想的な景観を生み出します。また、作品は出品者が自ら会場へ来場して展示することを原則としており、応募者自らにあかりアート展を体感してもらうとともに、宿泊などにより周辺施設等への経済効果も出ています。



美濃和紙あかりアート展



展示風景



会場風景

3 活動の成果や波及効果等

「美濃和紙あかりアート展」の実施に当たり、中学生から社会人までの地元ボランティアが 400 名以上活動しており、地域一体となった取り組みとなっています。国内では東京、愛知、奈良等、海外ではイタリア、韓国、台湾のイベントにおいて作品を展示し、また、「全国あかりサミット」の開催を提唱し、日本各地のあかりイベントと交流をするなど、各地との絆を深めるとともに、「美濃和紙あかりアート展」のブランド構築をしています。



ボランティア (高校生) による作業



目黒 ホテル雅叙園
「和のあかり×百段階段」



美濃和紙あかりアート展
in アマルフィ大聖堂

喜びの声



受賞者

美濃和紙あかりアート展実行委員会
委員長 田代 智亜紀

コメント

平成 30 年に 25 回目の美濃和紙あかりアート展を開催することができました。この 1 / 4 世紀の間に、会場の「うだつの上がる町並み」では、観光客や店舗が増加、本美濃紙は、ユネスコ無形文化遺産に登録され、美濃への注目が一層高まりました。今後も市の発展の端緒となるよう、活動を継続していきたいと思います。

活動の内容

- ・美濃和紙あかりアート展の開催
- ・国内外での作品展示など

活動の経緯

- 平成 6 年 第 1 回開催
- 平成 13 年 第 6 回ふるさとイベント大賞受賞 (総務大臣賞)
- 平成 20 年 第 1 回ティファニー財団伝統文化大賞受賞
- 平成 21 年 第 26 回地域づくり表彰
日本政策投資銀行賞受賞
- 平成 30 年 GOOD DESIGN 賞受賞

所在地

岐阜県美濃市うだつの上がる町並

活動主体及び連絡先

美濃和紙あかりアート展実行委員会
(0575-33-1122)
<https://www.akariart.jp/>

対象となる社会資本

岐阜県美濃市うだつの上がる町並み一帯
(美濃市美濃町伝統的建造物群保存地区内)
※管理者：美濃市



手づくり郷土賞
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編